

B-1 指導の工夫



《興味関心を高める》

厚ボール紙に描いた場面絵をセッティングし、教室の中に「お手紙」の物語にあるかえるくん、がまくんの家を作り出した。音読時には、500ミリリットルのペットボトルに靴下で作ったかえるくん、がまくん、かたつむりくんの人形をかぶせた物（背景となる場面絵、靴下人形は加賀市内の小学校教諭の作ったものを貸していただいた。）を操作し、場面設定がより印象的となるように工夫した。

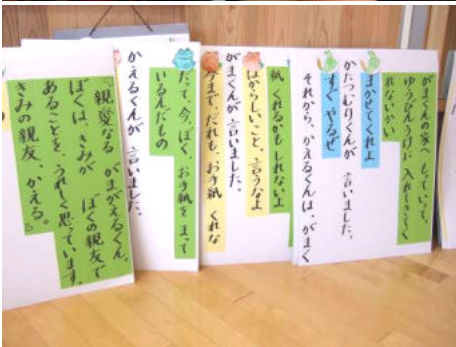


《理解を深める》

《操作しやすい教材教具》

- 物語の展開 … 地の文を台紙に書いておく
- かえるくんの言葉 … 緑色の紙
- がまがえるくんの言葉 … 黄色の紙
- かたつむりくんの言葉 … 水色の紙
- さまざまな表情の顔シール … 登場人物それぞれ
(うれしい、悲しい、つまらない、不安、幸せ、感動)

物語の内容を読み取り、登場人物の心情にせまるために、言葉や顔シールを2～3枚並べ、その中から選択する方法をとった。カードの裏には両面テープを貼り、選んだものを貼る作業の中に、両面テープをはがしたり、台紙に貼り付ける時に本児の気持ちを確認したりする「自発性を生かすことのできる活動」を意図的に取り入れた。一つ一つ作業を進めながら、読み取ったことが絵本のように仕上がる工程も楽しむことができた。



《人との関わりを広げる》

公開授業では、参観の先生方にも参加していただき、物語を読んだ。日頃の学習とは違った刺激を受けながらも、リラックスして新しい先生方との出会いを楽しんだ。

第2次〈楽しもう〉の学習内容には、図書館司書教諭との関わりを広げる活動を取り入れた。司書教諭と協力しながら、1年、2年の国語科教科書に出ているいろいろな話の作者の著書を探したり、紹介してもらったりした。



《他教科等への発展》

「お手紙」をキーワードにして発展的な活動を進めた。

- ・本児をより理解し、もっと仲良くなろうとする交流学級での特別活動 → 友だちからの手紙
(質問、メッセージ等)
- ・友だちからの手紙の返事としてのプレゼント作り
→ 読書月間に合わせて手作りしおりをプレゼント
- ・フェスティバルでの家族への手紙 → 1行レター